



岡山県教育庁高校教育課	
担当者	廣瀬・石原
連絡先	086-226-7583 (内線：4831・4832)

高校教育改革を先導する拠点として、県立高校2校が採択されました (産業イノベーション人材育成等に資する高等学校等教育改革促進事業 ※)



1 概要

- ・文部科学省が令和8年2月13日に公表した「高校教育改革に関する基本方針（グランドデザイン）～2040年に向けた『N-E.X.T.（ネクスト）ハイスクール構想』～」の確実な実装を図るため、本県は、5月中旬に改革先導拠点4校の申請を行いました。
- ・今般、文部科学省から**2校の採択が通知・公表されました。**
- ・今後、地域の産業界や大学等とより一層連携しながら、将来の本県高校教育を牽引するパイロットケースを創出できるよう、**従来の枠にとられない大胆な教育改革に取り組んでまいります。**

※ https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/kaikaku/1358056_00006.htm



2 採択結果

類型	学校名	文部科学省に申請した内容	上限額
①	 東岡山工業高等学校	次世代産業を牽引する高度専門職人材育成の拠点形成 <ul style="list-style-type: none"> ・学科横断 STEAM 型学習による多角的な視点を備えた技術者の育成 ・サイバニックフィジカルAIの社会実装探究 ・半導体設計等の最先端テクノロジーの実践 ・大学・企業との共同プログラム開発のためのラボ整備 ・新たなビジネスプランを創造するアントレプレナーシップ教育の実践 等 	18.2 億円
②	 岡山操山高等学校	理系的素養・文理横断型高度探究人材育成の拠点形成 <ul style="list-style-type: none"> ・データサイエンスや生成AI、サイバニックフィジカルAI等を取り入れた理系的素養を涵養する文理横断的で探究的なカリキュラムの開発 ・出前講座やアカデミック・インターンシップ等、放課後を活用した生徒の主体的活動の展開 ・大学教員からの探究活動への指導や、企業や他校と連携した取組を行う新ホール整備 ・協力校等との連携による女性理系研究者育成ネットワークの構築、通信制課程の機能強化 等 	20.1 億円
計	2校		38.3 億円

(類型①) … アドバンスト・エッセンシャルワーカー等育成支援

(類型②) … 理数系人材育成支援

【岡山県】次世代産業を牽引する高度専門職人材育成の拠点形成

岡山県立東岡山工業高等学校
(全日制/工業学科)

アド	理数	多様
○		

- 岡山県の産業人材育成においては、DX化やGX化に伴う変化に対応した、実践的能力を有するイノベーション人材育成が課題
- 専門高校においては、**教科等横断的な学びの展開による専門的な知識・技術の深化と産学官連携による地域産業の担い手育成が急務**
- PBL（課題解決型学習）の拠点となる新設ラボを整備し、**大学・企業との共同プログラム開発を通じて、高度な専門職人材を輩出するモデルを構築**

人材育成の現状・課題

【岡山県における現状・課題】

- 2040年には生産年齢人口が約15%減少し、専門職や現場人材が決定的に不足
- AIやIoT等の先端技術を「現場」で使いこなすための実践的なデジタル環境の整備と**生徒の興味・関心に応じて専門領域を横断して学ぶカリキュラム構築が必要**
- ロボティクス等の次世代産業に関する人材を輩出**できるよう、高度な実習設備の整備や**企業と連携して実践的で一貫した育成プログラムの実施が必要**

- 【人口推計】2040年の生産年齢人口：2025年と比較して約15%減少
20～24歳を中心とした若い世代の転出超過が顕著
- 【就業構造】2040年：事務職5.6万人の余剰が生じる一方、専門職1.8万人、現場人材4.2万人の不足を予測
- 【学科構成】公立全日制高校の総募集定員に対する定員の比率
普通系学科55%、職業系学科40%、総合学科5%

具体の事業内容

【拠点における主な改革目標】※【 】はR7現況値とR13目標値

- ・新設「夢育ホール」を利用する他校の高校生（年間利用者数）：【0名 → 200名】
- ・岡山大学工学部等、最先端工学分野への進学者数：【13名 → 25名】
- ・企業・大学との高度共同研究・社会実装プロジェクト数：【2件 → 20件】

【取組内容・創出するパイロットケース】

（教育改革の内容）

- ・**一括募集**をはじめとする学科横断STEAM型学習による**多角的な視点を備えた技術者育成**
- ・筑波大・山海教授と連携した**サイバニックフィジカルAI**の社会実装探究
- ・**半導体設計**等の高度な開発環境を駆使した、**産学官連携の最先端テクノロジー**の実践
- ・大学レベルの研究成果を武器に岡山大学等、最先端工学分野へ羽ばたく**革新的進路実現**
- ・異校種の高校生や企業も参画し、様々なアイデアを出し合いながら、**新たなビジネスプランを創造するアントレプレナーシップ教育**の実践

（施設・設備の整備）

- ・「夢育ホール」で企業課題を解決、最先端技術を社会実装する**産学共創の拠点**を構築
- ・**VR・デジタルツイン活用**の「KYTルーム」によるデータ主導の**高度安全教育**を実践

【他校への普及方策】

- ・「夢育ホール」での産学共同研究や機材を他校へ開放、県の共有財産として運用
- ・学科横断カリキュラムをパッケージ化、県内工業教育をアップデートする推進力

【その他】

連携機関の企業や学生等による放課後の学習支援・探究支援等の実施

実施体制

協力校

岡山県立岡山操山高等学校、興陽高等学校、岡山東商業高等学校、真庭高等学校、岡山工業高等学校(工業教育協会加盟校他15校)

主な連携機関 等

筑波大学、岡山大学、岡山理科大学、環太平洋大学、(株)岡山村田製作所、瀬戸内サニー(株)、(株)中国銀行等



東岡山工業高等学校：次世代産業を牽引する高度専門職人材育成の拠点形成 事業イメージ

推進体制（ガバナンス）



推進協議会の設置
学校、大学、企業が連携し、
改革の方向性を決定

夢育ホール（新設ラボ）



創造と対話の場
工作・分析、
KYTルーム、ホール

常駐職員によるサポート
連携教員等の専門スタッフ、
放課後・休日も探究活動を支援

他校の生徒や企業も集まるSTEAM教育の拠点

目指す成果（インパクト）



**次世代エッセンシャル
ワーカーの育成**
自ら問いを立て、
他者と価値を共創できる
高度な人材



地元就職と地域活性化

実践的なものづくり教育で県内企業への
就職を促進し、地域全体を活気づける



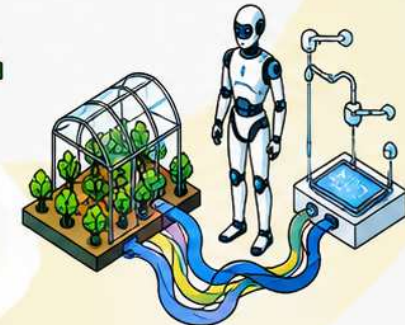
教員の働き方改革・指導力向上
ラボへの外部スタッフ配置により
負担を軽減し、専門スキルの向上と
教育活動への注力を両立

学びの変革（メソッド）



学科横断

専門知識とマーケティングなどを
相互に学ぶ柔軟なカリキュラム



先進的なPBL（課題解決型学習）

企業や大学と連携した共同研究を実践
（フィジカルAI、半導体設計）

東岡山工業高等学校：次世代産業人材育成の拠点「夢育（ゆめいく）ホール」イメージ図

1. 産学共創エリア

地元エンジニアのワーキングスペース
高校生・大学との合同ミーティング空間

2. 探究・工作エリア

ロボット製作やAI体験
3Dプリンタ等を用いた
プロトタイピングが可能な場所

3. 地域交流・小中高連携エリア

ジュニア・アトツギ・ワークショップ等が開催される
多目的交流ラウンジ

「混ざり合う」 オープンな創造空間

異なる学科の生徒、企業エンジニア、大学生が
自由に交流し、刺激し合うオープンな設計

4. サポートデスク

退職教員等の常駐職員が配置され
生徒の放課後活動や探究をサポート

【岡山県】理系的素養・文理横断型高度探究人材育成の拠点形成

岡山県立岡山操山高等学校
(全日制・通信制/普通科)

アド	理数	多様
	○	

- 岡山県の産業人材育成においては、DX化やGX化に伴う変化に対応した、実践的能力を有するイノベーション人材育成が課題
- 普通科高校においては、**文系理系問わず、理系的素養を身に付け、文理横断的に課題解決に取り組む**資質・能力の育成が急務
- 文理横断的で探究的なカリキュラム開発により、**理系的素養や科学的視野を備えた、高度探究人材の育成を目指すモデルを構築**

人材育成の現状・課題

【岡山県における現状・課題】

- 2040年には生産年齢人口が約15%減少し、専門職や現場人材が決定的に不足
- 本県の理系選択率は43%と比較的高いが、文系選択者の中には、理系的素養を身に付けることなく大学に進学する生徒も多い
- 将来的に不足する人材の確保につなげるため、**理系的素養を身に付け、文理の枠を超えて高度な探究ができる人材の育成**が必要

- 【人口推計】2040年の生産年齢人口：2025年と比較して約15%減少
20～24歳を中心とした若い世代の転出超過が顕著
- 【就業構造】2040年：事務職5.6万人の余剰が生じる一方、専門職1.8万人、現場人材4.2万人の不足を予測。
- 【学科構成】公立全日制高校の総募集定員に対する定員の比率
普通系学科55%、職業系学科40%、総合学科5%

具体の事業内容

【拠点における主な改革目標】※【 】はR7現況値とR13目標値

- ・大学理系学部・学際系学部への進学率【37.5%→50%】
- ・探究活動の成果を活用した大学進学者数【29.5%→50%】
- ・生徒の科学技術に対する肯定感・効力感【現況値なし→80%】

【取組内容・創出するパイロットケース】

(教育改革の内容)

- ・学校設定科目「**SOZAN STEAM**」を中心に、**サイバニックフィジカルAI**等、最先端の科学技術に触れ、理系的素養を涵養する、**文理横断的で探究的なカリキュラム**の開発
- ・出前講座や、大学のラボで指導を受けるアカデミック・インターンシップ等、**学びを深化させたい生徒の主体的活動**を展開する「**放課後サイエンス・コミュニティ**」の実施
- ・協力校等とともに、理系女子のロールモデルに触れる機会の創出や、理系志望の女子生徒の交流促進を行うなど、県内の**女性理系研究者育成ネットワーク**の構築

(施設・設備の整備)

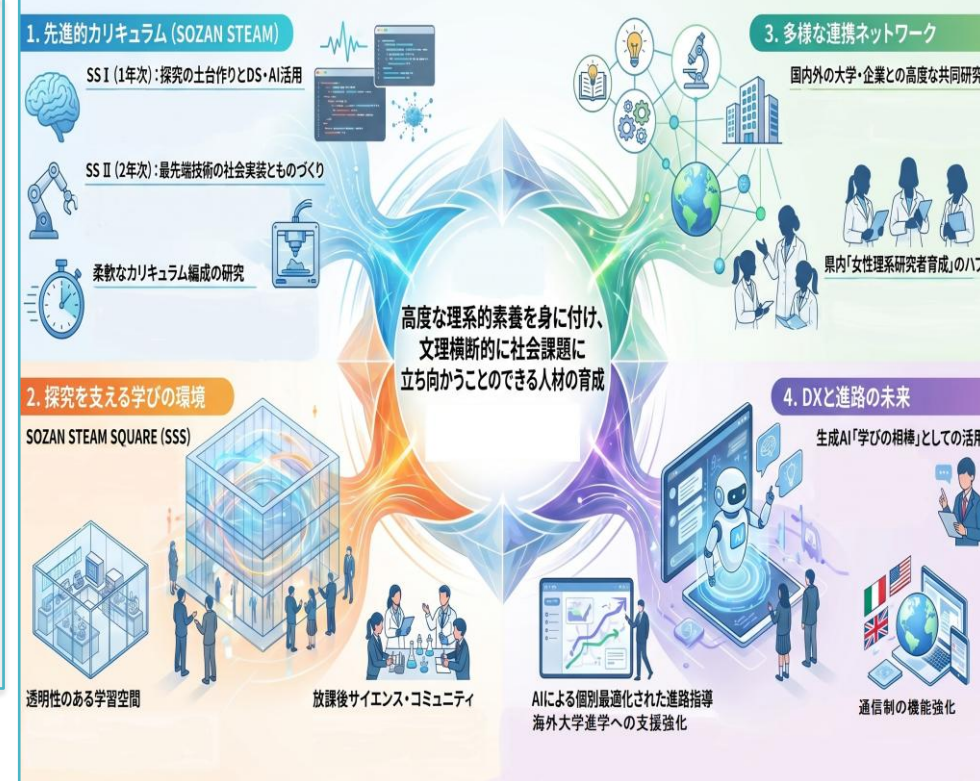
大学の教員から探究活動の指導を受けたり、企業と連携した取組を行うなどに活用する新ホール「**SOZAN STEAM SQUARE (仮)**」の整備等

【他校への普及方策】

カリキュラム開発の成果や作成した教材等について研修会等で発表、共有を実施

【その他】

連携機関の研究者や学生等による、放課後の学習支援、探究支援の実施



実施体制

協力校	岡山県立岡山一宮高等学校、倉敷天城高等学校、玉島高等学校、津山高等学校、岡山城東高等学校、東岡山工業高等学校
主な連携機関 等	岡山大学、筑波大学、おかやま・スタートアップ支援拠点運営委員会、BeLive実行委員会等

岡山操山高等学校：理系的素養・文理横断型高度探究人材育成の拠点形成 事業イメージ

1. 先進的カリキュラム (SOZAN STEAM)



SSI (1年次): 探究の土台作りとDS・AI活用



SS II (2年次): 最先端技術の社会実装とものづくり



柔軟なカリキュラム編成の研究



2. 探究を支える学びの環境

SOZAN STEAM SQUARE (SSS)



透明性のある学習空間



放課後サイエンス・コミュニティ



高度な理系的素養を身に付け、
文理横断的に社会課題に
立ち向かうことのできる人材の育成

3. 多様な連携ネットワーク

国内外の大学・企業との高度な共同研究



県内「女性理系研究者育成」のハブ

4. DXと進路の未来

生成AI「学びの相棒」としての活用



AIによる個別最適化された進路指導
海外大学進学への支援強化



通信制の機能強化

岡山操山高等学校：理系的素養・文理横断型高度探究人材育成の拠点「理科教室」イメージ図

高度な分析機や半導体シミュレーター等を整備し、大学等と連携して高度な授業を展開する。
透明性のある学習空間を創出することで、実験風景を目にした生徒に科学への興味・関心が広がる場とする。

